



一般社団法人消費生活総合サポートセンター（Cサポ）

Cサポのコーディネートにより

高校生が考えたアイデアを 企業に届けることができました

2022年4月6日、王子ホールディングス株式会社のご協力により王子ネピア（株）ティッシュペーパーの開発担当者
と高校生との対談が実現しました。

提案したのは、埼玉県立所沢高校3年生の大竹遼真さん。
[所沢市主催の「わが家のごみ減量アイデアコンテスト」](#)
で、最優秀賞を受賞した作品の製品化です。

「ハーフティッシュ」

「半分に切ったティッシュペーパー、半分に切ったティッシュ箱を
作って、1回1回の消費量を半分にする。」



提案した理由

ちょっとしたものをティッシュでふくときに1枚だと多いと思う
ことがあったので、半分にしてみました。中身のティッシュを半
分に切るのがとても大変でしたが、箱も半分にして使ったとこ
ろ、使い勝手はとても良かった。こういう製品が販売されてい
ないので、今回提案しました。（大竹さん）

「使用量を減らせる」というアイデアはシンプルだけど「なる
ほど」と思う視点です。形に見せていただくと説得力もあり
ます。一方で、製品化するには、企業として持続可能な経
営に結びつく商品であるのか、といった検討も必要になりま
す。今回のご意見は、今後の商品開発の上で、参考とさせ
ていただきます。（王子ネピア（株） 担当者様）

高校生の声を直接製造会社にお届けすることで、消費者
と企業が協働してエシカル消費を前進させる一助になればと
思い、企画しました。（Cサポ）

対談で環境の取組も伺うことができました

新製品を見せていただきました

2022年4月に発売した新製品を見せていただきました。脱プラスチックの取組として、紙製の取り出し口を採用したティッシュペーパーだそうです。

適切に管理された森の木で作られた「FSC®認証紙」を使用しています。パッケージに使われているインクは、バイオマスインキを使用しているとのこと。

開発時の苦労をお聞きし、製品化するまでには多くの過程で試行錯誤を繰り返して新製品が生まれることを知りました。



製品の FSC®認証を取得するための努力

王子グループで製造している製品は、ティッシュペーパー、トイレットペーパーの他にもコピー用紙など多種多様な製品で FSC®認証を取得しています。この FSC®認証マークを取得するためには、たくさんの認証基準をクリアする必要があることがわかりました。

例えば、違法伐採をしていない、生物多様性などの環境への配慮だけではなく、住民の雇用創出という経済性、インフラ整備への協力などの社会性も含めた持続可能性、生産された木材の流通経路・量の管理などがあります。

最近 FSC®認証マークを見る機会が増えていますが、認証を取得するためには企業の大変な努力が必要不可欠なことがわかりました。



カーボンニュートラルへの取組

王子ホールディングスでは、2030年までに2018年比70%削減という目標を掲げています。

この目標を達成するために2018年比 **CO₂削減20%**、**森林によるCO₂吸収50%**の2本立てで取り組んでいるとのこと。

CO₂削減の目標を達成するために、CO₂排出量が少ない事業への転換、紙を製造する過程で使用しているエネルギーを石炭よりCO₂排出が少ない天然ガスに切り替える設備を計画しているそうです。太陽光発電の設備も計画中ですが、木を切り倒してメガソーラーを建設することはせず、遊休地などを探しているとのこと。

また、王子グループは現在58万haの森林を保有していますが、森林によるCO₂吸収量を増加させるため、2030年までに、更に15万haの植林地を増やす計画があるそうです。

感想

私たち消費者はいつものティッシュペーパーを半分に切って販売するだけだから簡単だろうと思っていても、製造ラインの変更が必要なことや、利益が出るのかなといった懸念点があるということを知れました。また、多湿でも耐えられる紙包装やバイオマスプラスチックの開発についてもお聞きし、今後そういった製品が販売されるのが楽しみになりました。これからは「つかう責任」を意識してFSCマークの付いた商品を買うなどしてネットゼロカーボンを応援していきたいと思います。（大竹さん）

消費者と直接やり取りする貴重な機会となりました。大竹さんの環境視点、Cサポの消費者教育の視点、それぞれの視点でお話をお聞かせいただき、商品の企画担当として、大変参考になりました。（王子ネピア（株））



「消費者と企業が協力してより良い社会をつくらう」という理念はあっても、実際の行動にどう結びつけられるのか模索する中で、今回Cサポが仲介して両者をつなぐことができ、消費者団体としても一歩前進できたかと、うれしく思います。（Cサポ担当）